

平成29年3月30日
日本潜水協会
日本埋立浚渫協会
岩手県立種市高等学校
洋野町
岩手県
東北地方整備局

産学官による潜水土等の担い手の確保・育成に係る 連携・協力協定を締結しました

～種市高校、洋野町（岩手県）をはじめとした関係6者の連携強化～

平成29年3月23日、潜水土等の担い手の確保・育成を図るため、全国初の産学官による包括的連携・協力協定を締結しました。

締結式では、岩手県立種市高等学校、洋野町、岩手県、東北地方整備局港湾空港部、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部及び一般社団法人日本潜水協会が出席し、これまで必要に応じて個別に対応してきた取り組みを、関係6者が一体となって、より組織的かつ継続的に連携・協力できる体制をとることに合意し、協定書への署名を行いました。

【締結式及び連絡調整会議準備会概要】

◆日時：平成29年3月23日（木） 14：00～15：00（締結式）
15：00～15：45（準備会）

◆場所：洋野町役場 種市庁舎 3F庁議室
(岩手県九戸郡洋野町種市23-27)

◆協定締結者：岩手県洋野町 町長 水上 信宏
岩手県立種市高等学校 校長 南舘 秀昭
岩手県教育委員会 教育長 高橋 嘉行
国土交通省東北地方整備局港湾空港部 部長 中島 洋
一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部 支部長 中村 俊智
一般社団法人日本潜水協会 会長 鉄 芳松

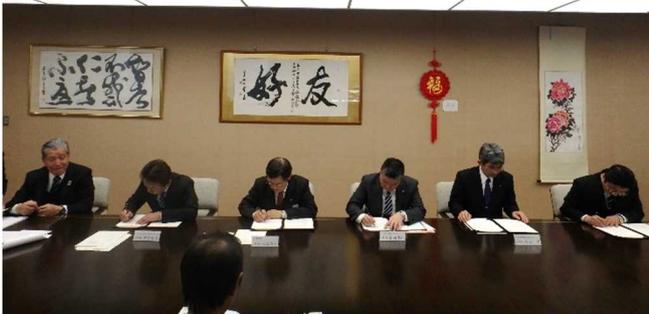
◆配付先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【協定締結に至る背景】

建設業界における担い手不足、後継者難はいまや深刻な問題となっており、潜水業界においても例外ではありません。港湾、海岸、海上空港、さらには海洋開発に関する公共工事には水中部の潜水作業が不可欠であり、潜水作業を担う人材不足への対応が求められています。

このような状況を踏まえ、港湾潜水技師等の担い手の確保・育成に寄与するとともに、潜水技術の基礎知識の習得や各機関連携したPRを行うなど、港湾整備をはじめとした海洋土木技術の持続的な発展を目的とし、関係6者の協力関係をより推進する包括的連携・協力協定を締結することとしました。

締結式の様子



協定書への署名



協定締結後の写真撮影

左から、(一社)日本潜水協会 鉄会長、(一社)日本埋立浚渫協会東北支部 中村支部長、洋野町 水上町長、岩手県立種市高等学校 南館校長、岩手県教育委員会 岩井首席指導主事(代理出席)、東北地方整備局港湾空港部 中島部長

協定書の主な内容

(目的)

第1条 この包括的連携・協力は、関係6者がこれまで長年にわたり培ってきた信頼関係に基づき、より有機的に連携・協力できる体制をとることにより、港湾整備をはじめとする海洋土木技術の持続的発展と港湾潜水技師等の担い手の確保・育成に寄与することを目的とする。

(連携・協力事項)

第2条 関係6者は、第1条の目的を達成するため、次の事項において相互に連携・協力を行うこととする。

- (1) 海洋土木技術の維持向上、普及又は啓発に関すること。
- (2) 海洋土木技術者の社会的認知度の向上、人材確保及び育成に関すること。
- (3) 上記施策の推進に関する情報交換及び連絡調整に関すること。
- (4) その他、必要と認める事項。

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本潜水協会 事務局長(代行) 浦辺
電話 03-6858-0103